

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確報値）

（令和4年3月3日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	70,120	61.3	過去 2 番目
ハクチョウ類	3,496	3.1	過去 19 番目
カモ類	40,748	35.6	過去 5 番目
計	114,364	100.0	過去 3 番目

※ 3月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は50回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和4年3月3日	70,120	3,496	40,748	114,364
令和3年3月4日	7,000	1,773	21,496	30,269
増減	63,120	1,723	19,252	84,095

3 主な確認地

地点名 市町村 羽数

昨年の羽数

(1) ガン類	伊豆沼・内沼	栗原市・登米市	33,996 羽	6,033
	化女沼	大崎市	19,068 羽	144
	蕪栗沼	大崎市	15,568 羽	363
(2) ハクチョウ類	加美町鳴瀬川	加美町	817 羽	385
	花川	色麻町	422 羽	0
	直沢大溜池	大和町	331 羽	1
(3) カモ類	大崎市鳴瀬川	大崎市	4,050 羽	145
	化女沼	大崎市	2,949 羽	1,157
	釜房湖	川崎町	2,708 羽	163

4 調査箇所数

県内のガン，ハクチョウ，カモ等の飛来地514か所

5 調査人員

県職員，県自然保護員，蒲生を守る会及び日本雁を保護する会の会員等

101人

6 その他

本調査の内容については，宮城県自然保護課ホームページで確認できます。

HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

寒波が続いたことで北東北の積雪や湖沼の凍結が多く，北帰行が遅れたため，昨年と比較して多くのガンカモ類が記録されたと考えられる。